

【2008年前期飲料CM出稿本数ランキング～企業別】*アルコール類除く

順位	企業名	新規出稿CM本数
1	コカコーラ	80
2	サントリー	69
3	麒麟ビバレッジ	30
4	アサヒ飲料	29
5	大塚製薬/大塚ビバレッジ	18
6	アサヒ緑健	16
7	カゴメ	15
7	カルピス	15
7	森永製菓	15
10	日本たばこ産業	13
	その他	130
出稿本数合計		430

飲料CMの新規出稿は4月がピーク

2008年も半分が過ぎました。梅雨の真っ只中ですが、これからは夏に向けて汗ばむ季節となって行きます。喉の潤きを潤したいとき、CMのイメージがふと頭に浮んできました。そこで1月から6月までの『飲料CM』について集計をおこなってみました。

調査期間：2008/1月～6月

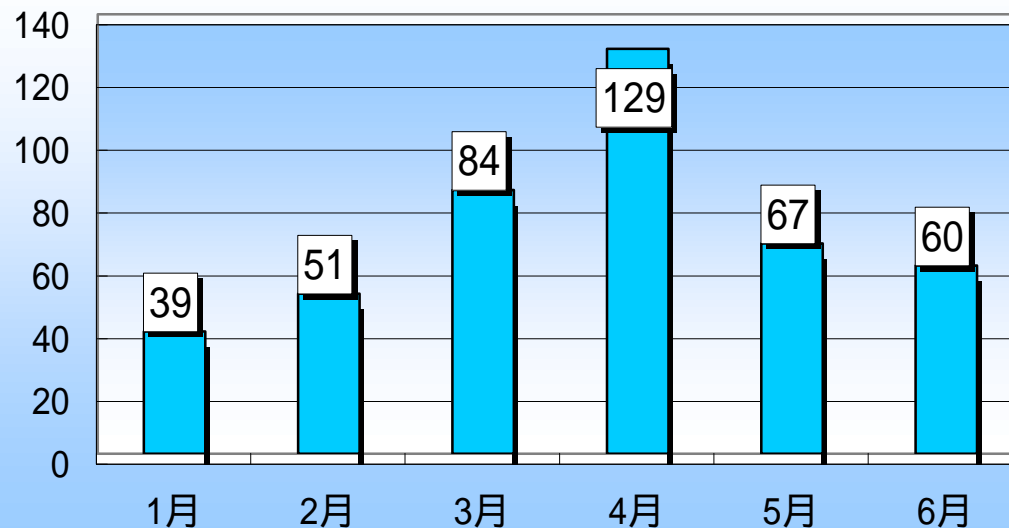
対象局：東京キー局

新規出稿CMの本数は、テロップ・ナレーション改編、秒数違いも含む。(インフォーマーシャル・アルコール類除く)

飲料CMのカテゴリーの中で一番多くの新規CMを出稿しているのが日本コカコーラ。コーラはもちろんのこと、缶コーヒー(ジョージア)、お茶系(爽健美茶)スポーツドリンク(アクエリアス)、炭酸飲料(ファンタ・スプライト)など、たくさんの商品の新規CMをオンエアしています。続くサントリーも同様に商品の種類は多い22商品。特にお茶系の新規CMが多く8商品27本ありました。3位の麒麟ビバレッジは、新規CMは30本と上位2社の半分。こちらもお茶系(午後の紅茶・生茶など)のCMが大半で14本の出稿がありました。

(表・左上)

新規CM出稿本数の推移(本数)



1月から6月にかけて月別に飲料CM新規出稿が確認された本数は430本。上位10社で約70%を占めております。4月の出稿本数が一番多く129CM。『新年度』『春』ということもあり新しいCMが多く出稿されました。4月の新規出稿本数をみると、サントリーが10商品で新規CMが24本と一番多く、続く日本コカコーラは、11商品と商品数は多かったが新規CM本数は、17本でした。

本格的な夏を迎える7月以降、飲料CMの新規出稿にもまた新しい変化が表れると予想されます。引き続き出稿の動向に注目です。